

5. グループインタビューのまとめ

グループインタビューで出された子育て支援のアイデアを整理する。

「子育ては楽しい！」を当たり前にしていくことが、結婚や2人、3人の出産につながっていく。「子育ては楽しい！」に地域全体で取り組んでいることが、はっきりと分かることが大事とされた。

非婚・晩婚化の理由(例示)

- 男性は収入面や仕事での不安があり結婚に自信を持ってない
- 母親がいつまでも娘を手放したがない
- 「結婚は大変だから」と勧めない雰囲気がある
- 女性は一定の収入もあり自由さが結婚で束縛されると感じている
- 意外に出会いの場がなく、結婚の世話(後押しをする)人がいなくなっている
- 専門職の女性は出産・育児で一旦、仕事を離れると復帰できない(社会と切り離される)不安がある

「結婚は苦勞につながる」との考え方が広がっている

結婚の意思や子どもを『産む産まない』は本人の気持ち。他人や行政が直接関わることはできにくい

大事なのは、「子育て」が楽しいと感じられること

「子育ては楽しい！」を当たり前にしていく

子どもを多く生まない理由(例示)

- 若い子どもがいると働きにくく収入の心配がある
- 子どもが病気の時など預かってくれる体制(実家など)がないと多く産みにくい
- 2人目が生まれにくい人がいる。そのことを相談できる周りの環境が必要
- パートで働いても保育料に消えていく、余裕がなく経済的な負担が大きい
- 子育てに関する情報(とくに地元の情報)が伝わっていないため、子育ての不安が解消されない

「子育ては大変だ」との考え方が広がっている

また、それに関する次のようなアイデアが出された。地域の人材を活かして、アイデアを実際の取り組みにつなげていく具体的な方法がいずれも課題とされる。

子育て支援のアイデア

子どものころからの子育てへの馴染み（玉名、大学生インタビューから）

- 赤ちゃんや幼い子どもを育てている母親、地元の保健師などと直接のふれあい体験を、小学生のころから繰り返していく
- 小学生、中学生、高校生など成長に応じた「子育てに関する体験や授業」、そのカリキュラムを考える
- 学校の授業で時間が取れないのなら、PTA主催の親子の時間や、社会福祉協議会のワークキャンプ、ボランティア協力校の活動で行う
- 学校評議員など地域の人が学校に関わる関係も活用

エンゼルマーケット（宇土インタビューから）

- 子ども用品への出費負担の軽減、足を運びやすい子育て当事者の集まる場として、ベビーカーやチャイルドシート等のベビー用品・子ども用品の交換・レンタル・購入・引取りのマーケットがあつたらいい
- 子育て支援に関わっている地域福祉塾メンバー等による具体化に向けての話し合い
- 携帯メール発信端末を持つ社会福祉法人等からの情報発信の可能性
- 地域の子育て支援関係者の連携による一歩進んだ取り組み

子育て情報コーディネーター（八代インタビューから）

- 一般的な情報ではなく、子育て当事者にタイムリーに伝わる情報が必要
- 情報を把握・整理・管理し、当事者に適切に提供していく情報コーディネーター、及び情報拠点の役割をつどいの広場や子育て支援センターが果たす
- 情報拠点では、とくに地元の情報をきめ細かに収集発信（口コミ情報は説得力がある）すること

隣近所での子どもを中心に「おたがいさま」の関係（玉名、大学生インタビューから）

- ファミリーサポートや一時預かり、放課後児童クラブ等の利用料は負担であり、近所のお年寄りなどに預かりを頼める関係・仕組みづくりができればいい
- 高齢者の生きがいや健康づくりにもつながる
- 子育て支援関係者が、地域の高齢者のふれあいサロンや老人会活動に参加し、子どもやその親と地域のお年寄りとなつて役割を果たす
- 「お試し預かり」で一歩踏み出す

資料：大学生グループインタビュー後の感想

子育てについて、自分は子どもが女子で育ててみたいという立場なので、子育てをしたくない、不安という方の気持ちに立って、ものごとを考えるというのが難しいわかったです。

「支援センターに行きたい」と思っても、1歩がなかなかふみだせないというのをどう支援していくか、「子育てをした」と思ってもらえるようにするにはどうしたらよいかということも今日、自分自身、しっかり考えることができ、自分を高めることができ、自分の意見もとても勉強になりました。 男

たくさんの方の意見を聞くことができて、自分自身もすごく勉強になりました。子育てや結婚について身近に感じない人にどのような考えや思いがあるのか知ることでも大切なのではないかなと思いました。少子化といわれ、子育てや結婚に良いイメージがない今日ですが、多くの人の意見を聞いたことで話し合うことで解決できることもあるのではないかなと思います。今日はこのような体験ができてとてもいい勉強になりました。ありがとうございます。 女

子育てに対する多くの意見が出てきたので、とても参考になりました。結婚に関しては、またイメージがわかないのかなと思いました。子育てに対する強い思いも感じました。今後さまざまな形で子育てに関わりたいと思います。参加者それぞれが、どのように関わるのが楽しみです。

私個人としては、今後、行政と市民が協力して子育てしやすい環境をつくり、つなげる。研究と実践にのぞきたいと感じました。 女

普段結婚や子育てについて友達同士で話すことはあっても、今日お話しは深く話し合うことにはなかなかないので、みんなの意見が聞けてとてもよかったです。今日の話しから子育てと関係には周りの助けや地域とのつながりが大事になってくるなということを感じました。若い人たちがたくさん子どもを産み、明るい未来になればいいと思います。 女

子育てに限らず、人にはそれぞれ個性があると思います。結婚においても、議論や条件、必要なのは一人一人違っていて、それぞれ全てを満たすことはとても難しいと思います。そんな時、沢山の選択肢の中から自分の求めるものに近いものを見つけ出すことができれば、これが実現した結婚や子育てです。この場で話せるのはいいかなと思います。 男

結婚のことと、子育ての事をこらや、みんなと話し合う機会ってないかなと感じました。何かと大変なイメージが伝わってきやすいけれど、結婚・子育ての楽しいイメージ、身近なイメージが伝われば、考え方も変わってくるかなと感じました。 女

子育てに必要なのは、やっぱり、人の心のなごみと改めて感じました。一人で子育て、負担が大きすぎる情報が多すぎる。子育て、結婚に消極的な意見が多すぎる。と思ってきました。子育ての環境と、頼める人がいることで子育ての不安の多くが解消されると思ってきました。実際に話を聞くというの、大きな意味があるように感じました。(女)

私は、ちょうど最近 姉の結婚や子育てを身近で見ている。自分の中で考えたり、という時だったので、みんなの意見や行政の動きを知れて、自分の考えが広がったように思いました。若い人が感じる理想と現実が違うものだろうし、1つの策がどこにでも通用するものではないとわかりました。意見に出たように結婚、子育て、兄弟が多いことのメリットを知ることは大事だと思いました。(女)

子育ての悩みを相談できる人をいふために、様々な意見が出て、自分の思っていることより、解決策を知ることができているように思いました。糸女婚しに、子育てしたいと思えるようにこれからは、子育てづくりが大切なのだと思います。子育ての不安を安んじに暖かしく思えるような社会になればと体験の必要さを感じました。とても勉強になりました。考えさせられて、時間でした。(女)

今日の話し合いで、みんなの意見も聞け、自分の意見も言い、疑問に思っていたことも解消され、とても充実した時間を過ごすことができました。(男)

(女)
今日、参加して、いろいろな意見も聞くことができて、いろいろな考え方も知ることができたと思います。結婚や子育てについて、悪い意見が多く出るのは、不安などがあるから当然のことだと思います。その不安を、いかに少なくできるか、そして、子育て中の親もそうでない人も子どもたちも、住みやすい社会になるためには、何が必要なのかどうすれば楽しく生活することができているか、もっとうるやうな世代の人たちの意見なども聞いてみたいと思いました。とても充実した時間が過ぎました。

